

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線323)
FAX63-5139

今月の表紙

今回の表紙は、ハッピーネス・ヒル・幸田の南にあるコスモス畑です。これは、幸田4Hクラブのメンバーや農協を始めとする関係者が、7月の高校野球地区予選のころ、炎天下で大汗をかきながら種まきをしたものです。10月の中旬に満開をむかえ、畑一面をコスモスが埋め尽くしていました。



知って得するくらしの

知恵袋

書類はすべて
立てて収納

置いたはずの資料が見つからない、文房具がなくなった。机の上の整理が悪くてあわてた経験はありませんか？机の上の整とんは子どものころから苦手という人も少なくないようです。机の上の整理整とんは、仕事や勉強の作業能率に大きく影響します。机の上を使いやすく整えるコツを紹介しましょう。

基本はなんといってもいらないものを処分することにつきます。もう使いそうにない古い資料、オリジナルが別にある文書のコピーなど、不要な紙類は捨ててしましましょう。「いつか使うかも」と、先のことを考えすぎると処分できなくなるので、思い切りも必要です。

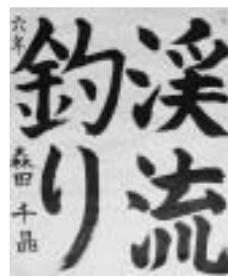
次に、使用中の資料や書類、文具などを用途別に分けます。分類には中身を取り出しやすいファイルボックスが活躍します。プラスチック製の市販品もありますが、

空き箱を利用して、自分でも簡単に作れます。A4の書類が縦に入るように分類・収納して、全面に項目別のラベルを貼ります。これならいちいちボックスをかき回さなくても欲しい書類が一目瞭然です。

ポイントは立てて収納すること。本や書類は、つい横にしてしまいがちですが、積み重ねると見失ったり崩れたりして使いにくくなります。ファイルは時々定期点検することも忘れずに。

机の上にはメモ用紙置き場も作りましょう。電話中にメモの必要に迫られて、とっさに目についた書類の端に書き留め、後でどこに書いたか分からなくなったということを避けるためです。

細かい文具類は、引き出しの中に仕切りを作ったり、空き箱や文具用のトレーにいれたりして収納すれば、使いやすく紛失も防げます。



【習字「溪流釣り」】
森田 千晶さん

みんなの作品展!



【習字「木立」】
吉永 夏実さん

皆さんの作品を募集します。応募方法はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

どんな意味? こんな意味!!

「ねんね」

「ねんね」は寝ること、眠ることを意味する幼児語。「ねんね」に接尾語「こ」がついたもので、子守歌は「ねんねこ歌」と呼ばれました。

古くは、狂言の歌謡にも「ねんねこ、ねんねこ、ねんねこや、目だに覚むれば、ちよちよち、あわわ」とあります。「目だに」は「目さえ」の意味です。

「ねんねこ歌」の流れは、大正10年(1921年)に、北原白秋が作詞した「揺籃のうた」にもおよんでいます。「揺籃のうたを カナリアが歌うよ、ねんねこ、ねんねこ、ねんねこよ...」

また、「ねんね」は、「ねんねこ半纏」の略語でもあります。幼児を背負うとき、防寒用にあからかぶせて着る、羽織に似た綿入れの上つ張りのこと。高浜虚子の俳句「ねんねこに埋めたる類に櫛落つる」という情景も、今では見ることが難しくなりました。



青春トークリレー

第152走者

こんどう けん
近藤 健さん

六栗区在住 24歳 空調設備
身長 175cm AB型

こんにちは。僕は、今年から草野球のチームに所属し、休日参加できる日は、できるだけ試合に行くようにしています。はじめは、しばらくスポーツをやっていなかったせいか、体が思うように動かず、戸惑っていました。でも、今では少しずつ慣れてきたので、この調子で何歳になってもスポーツができるおじいちゃんになりたいです。



をもってほしいと願っています。

今年5年に一度の国勢調査が実施されました。現在は、僕も集められた調査票の集計作業を手伝っています。
国勢調査は、日本国民全員が対象となる調査であり、幸田町でもたくさんの人から調査票を提出していただきました。これも、調査票の回収のため何度も対象となる家を訪れた調査員さんと、一生懸命記入していただいた町民の皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。(D)
芸術の秋です。久しぶりに名古屋へ出かけ、バイオリンソートの千住真理子&ベルリン室内管弦楽団の演奏を堪能してきました。演奏会も終わりに近づきシューベルトの弦楽四重奏曲第14番「死と乙女」の第3楽章あたりから、それまで聴き取りにくかったセカンドバイオリンとピアノが聴こえるようになり鮮烈なハーモニーが押し寄せてきました。いわゆる「ホールが鳴り出す」という状態を体験しました。皆さんは、何の秋を楽しんでいますでしょうか。(N)

はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画情報課まで。



わんぱくどより

「某月某日
〜幸田保育園」

頼りになります、

年長さん！の巻

10月最初の土曜日、幸田保育園では172人の園児の家族と、地域でお世話になっているかたを招いて、運動会を行いました。

園庭にあふれるほどたくさんの方が取り囲み、にがやかな反面、運動会といういつもと違う雰囲気、緊張と不安でいっぱいだったようです。

年少のかけっこでは、途中で立ち止まってしまった

り、家族に手を振って走り、コースを外れそうになったりと、さまざまな姿が見られました。こんなときに頼りになったのは、年長組の子どもたちです。

立ち止まった子に優しく寄り添い、一緒にゴールしてくれたり、走り終わったらどこに行くか迷わないように誘導してくれたりもしました。こうした姿を見て、本当に頼もしく思いました。

頼りになる年長さん、そろそろ就学の準備が始まるころとなりました。新しい環境になると不安がいっぱいですが、今後の園生活の中でいろいろな経験を積み、小さい子の手本となると同時に、自分に自信

ちびと編集者のひびくと